

# ウズベキスタン共和国

ウズベキスタン共和国は中央アジアの真ん中に位置する内陸国です。

国土は日本の1.2倍、中央アジア最大の人口を誇り（約3,500万人）、その65%以上が生産年齢人口であり、大きな潜在成長力を秘めています。近年、進められている経済システムの自由化により、同国経済は力強い成長を遂げており、投資環境の改善により、外国資本の投資も活発化しています。日本にとって、ウズベキスタンは遠くて近い国です。古代には、奈良を終着点としてシルクロード交易路を通じ、仏教文化が伝来しました。ビジネスのみならず観光においても、サマルカンド、ブハラといった地方都市には世界遺産に登録された史跡があり観光インフラ整備も進められています。

今回のイベントでは、ウズベキスタンの最新ビジネス情報をご紹介するとともに、UJC「経営塾」で学ぶ企業経営者18社19名と、ご参加頂く皆様とのビジネス交流の機会を提供します。

## 【大阪で開催されたビジネス交流会の様子】



## 【参加された企業の声の一部】

- 情報の少ないウズベキスタン経済・投資環境についての最新情報を得る事が出来た
- 今後、継続的にやり取りが出来る企業との出会いがあった
- 通訳のレベルが高くあらゆる話題に対応頂いた（日本語しか話せなくても大丈夫）



## 左：【首都 タシケント中心部】

近年の経済成長により、首都には近代的なホテル・ビジネスビルが建ち始めており、古代と近代が混在している

## 右：【第二の都市 サマルカンド】

古来より「シルクロード交易の要衝」、「文化交差路」として栄える。2001年に世界遺産に認定。